

# 児童の主体的なコミュニケーション活動を目指した単元構成の工夫

鹿角市立平元小学校 教諭 津江 真樹子

本校では週1時間、外国語活動教材 **Hi, friends!** を活用して授業を行っている。授業づくりに当たっては、外国語によるコミュニケーション活動が児童にとってより魅力的で主体的なものになるように、単元のゴールの設定や単元構成を工夫するように努めている。児童自身が知りたい、伝えたいと思えるようなゴールを設定し、毎時間の学習活動がゴールにどのようにつながっていくか見通しをもつことができれば、児童一人一人にとって、より意味のあるコミュニケーション活動や主体的な学びにつながっていくものとする。

以下に、平成27年度の指導事例を紹介する。(本時は「平成27年度小・中連携実践研究モデル事業に係る教員加配校訪問」で公開したものである。)

## 第6学年1組 外国語活動学習指導案

期 日 平成27年11月17日

指導者 T1 津江 真樹子 (平元小)

T2 金田一 晃宏 (花輪二中)

1 単元名 知りたいな!!中学生の一日

2 教 材 Hi, friends! 2 Lesson 6 What time do you get up?

### 3 単元の目標

・進んで自分の一日の生活について紹介したり、友達や中学生に尋ねたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

・生活の中での行動を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

・世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味をもつ。

【言語や文化に関する気づき】

### 4 単元と児童

#### (1) 単元について

本単元では、一日の生活の中での行動を表す表現 (get up, eat breakfast/ lunch/ dinner, go to school, play, study, clean, go home, take a bath, watch TV, go to bed など) や、それらの行動を何時にするかを相手に尋ねる "What time do you ~?" の表現に慣れ親しませることを目標としている。単元の終末に、中学生の一日の生活についてインタビューするというゴールを設定することで、目的意識や相手意識をもって学習に取り組もうとする意欲をもたせたい。インタビュー活動に必要な単語や会話表現については、チャンツ (リズムに合わせて繰り返し言うこと) やゲームを通して、繰り返し声に出して慣れ親しませることで、自信をもって活用できるようにしたい。

また、世界の時刻について学習する際には、世界地図やインターネットによるウェブカメラの映像などを活用する。世界の国々では日本と時差があることや、様々な人たちがそれぞれの地域で生活していることなどを実感できるようにしたい。

本単元の指導は、全て中学校の英語教諭とTTで行う。新たな会話表現の導入やゲームのやり方を示す際にデモンストレーションをしたり、児童が活動をする際に必要な支援を行ったりするなど、しっかりと役割分担をして効果的な指導に努めたい。本時は、中学生の一日の生活について尋ねる内容を考え、練習する時間である。単元を通して学習した表現を活用することはもちろんであるが、中には、学習していない事柄について尋ねたいと考える児童もいることが予想される。児童の思いに合わせてインタビュー活動の事前準備ができるように、中学校教諭とも連携して、指導や支援に当たりたい。

(2) 児童について (男子7名 女子6名 計13名)

毎時間の学習活動はゲーム的な内容が多いため、楽しく取り組んでいる。活動を通して、新しい単語や表現を知ることや、外国の文化や言語の違いを知ることにも楽しみにしている。

11月20日に行われる中学校体験入学に当たって事前アンケートを行ったところ、中学校での教科学習や部活動、生徒会活動について知りたいと考える児童が多かったが、同時に、学習時間、休み時間、部活動の時間など、中学生の一日の生活の流れについて知りたいと答える児童も多かった。そこで、本単元の学習の成果を生かす場として、学習した表現を活用して、中学生の一日の生活についてインタビューするというゴールを設定した。

児童はこれまでに、友達、教師、ALT (CIR) へのインタビュー活動を経験しているが、中学生に対してのインタビューは初めてである。しかし、身近にいる外国語学習者に、自分たちがこれまでに学習した外国語を用いてコミュニケーションを図ることができれば、児童にとって大きな自信につながるとともに、さらに中学校での外国語学習に対して意欲をもつことにもつながると期待する。必要な表現にしっかりと慣れ親しませることで、初めて接する相手に対しても進んで尋ねようとする気持ちをもたせ、自信をもって活動できるようにしたい。また、相手の目を見てはっきり話すことや、ジェスチャーを交えることなども、同時に意識させ、身に付けさせることで、今後も気持ちのよいコミュニケーションが図れるものとする。

(3) UD (ユニバーサルデザイン) の視点による支援について

①「焦点化」について

- ・1時間のゴールがはっきりと分かるようなめあてを設定する。
- ・振り返りシートに、めあてに沿った振り返りの視点を明記する。
- ・短く分かりやすい指示を出す。
- ・単元のゴールのインタビュー活動に見通しがもてるように、TTでモデルを示す。

②「視覚化」について

- ・1時間のゴールや学習過程を黒板に掲示する。
- ・単元の流れが分かるような振り返りシートを作成する。
- ・活動に必要な単語や会話表現を、絵カードや短冊にして黒板に掲示する。
- ・ジェスチャーを交えながら指示を出す。
- ・一日の生活の違いを視覚的にも捉えることができるように、ワークシートを工夫する。
- ・世界地図やインターネットのウェブカメラの映像を活用することで、日本との時差に気付くことができるようにする。

③「共有化」について

- ・言語や文化について気付いたことを発表させ、共通理解を図ることができるようにする。
- ・新しい活動をする際には、デモンストレーションでやり方を示す。
- ・個で行う活動の他に、ペアやグループなどで行う活動を設定することで、互いに協力したり、男女関係なく交流したりできるようにする。
- ・中学生へのインタビュー結果をお互いに紹介する時間を設けることで、中学生の一日の生活についての共有化を図り、中学校生活への期待感をもてるようにする。

課外で行った中学1年生へのインタビュー活動の様子



5 単元の指導計画（5時間）

時	ねらいと主な学習活動	支援（★UDの視点による支援）	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動を表す表現と時刻の言い方を知る。</li> <li>○ナンバーゲーム</li> <li>○金田一先生の一日の生活についてインタビューしよう！</li> <li>○ジュエスチャーゲーム</li> <li>○おはじきゲーム</li> <li>○チャンツ「What time do you get up?」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ゲームや活動に必要な単語や会話表現については、カードや短冊を掲示しておくことで発話する際の手掛かりとさせる。</li> <li>★単元のゴールのインタビュー活動に見通しがもてるように、教師がT1, T2でモデルを示す。</li> <li>・チャンツの際には、ゆっくりとした速さから練習を始めることで、次第に表現に慣れることができるようにする。</li> </ul>	<p>【慣】 行動を表す表現や時刻を、聞いたり言ったりしている。</p> <p>（行動観察、 振り返りシート点検）</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動を表す表現や時刻の言い方に慣れ親しむ。</li> <li>・時刻について尋ねる表現を知る。</li> <li>○チャンツ「What time do you get up?」</li> <li>○今、何時？ゲーム</li> <li>○メモリーゲーム</li> <li>○津江先生の一日についてインタビューしよう！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★時計の模型を用いたり、その時刻にどんなことをしているかを尋ねたりすることで、実生活と結び付けながら時刻の言い方に慣れ親しませることができるようにする。</li> <li>・メモリーゲームでは、ペアで協力して活動するよう助言する。</li> <li>★教師の一日の生活が視覚的にも捉えられるように、板書を工夫する。</li> </ul>	<p>【慣】 行動を表す表現や時刻を、聞いたり言ったりしている。</p> <p>（行動観察、 振り返りシート点検）</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>一日の生活について友達に進んで尋ねたり答えたりする。</li> <li>・行動を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。</li> <li>○チャンツ「What time do you get up?」</li> <li>○ステレオゲーム</li> <li>○友達の日についてインタビューしよう！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステレオゲームでは、時刻をはっきりと伝えるように助言する。</li> <li>★友達の日についてインタビューする際には、学習シートを工夫し、男女関係なくたくさんの友達と交流ができるようにする。</li> <li>★インタビューの途中で、お手本になる話し方をしている児童を取り上げて紹介することで、気持ちのよいコミュニケーションをしようとする意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>	<p>【コ】 一日の生活について、友達に進んで尋ねたり答えたりしている。</p> <p>（行動観察、 振り返りシート点検）</p> <p>【慣】 行動を表す表現やその時刻を尋ねる表現を、聞いたり言ったりしている。</p> <p>（行動観察、 振り返りシート点検）</p>
4 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。</li> <li>・中学生にインタビューする内容を、考えたり練習したりする。</li> <li>○チャンツ「What time do you get up?」</li> <li>○チェンゲーム</li> <li>○中学生へのインタビュー内容を考えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★チェンゲームでは、やり方をデモンストレーションで示すことで活動がスムーズにできるようにする。</li> <li>・中学生へのインタビュー内容を考える際には、T1, T2で担当する児童を分担し、個別の支援ができるようにする。</li> <li>・学習していない事柄について尋ねたい児童がいた場合には、なるべく簡単な英語表現に置き換えて尋ねることができるようにする。</li> </ul>	<p>【コ】 中学生へのインタビュー内容を、進んで考えたり練習したりしている。</p> <p>（行動観察、 振り返りシート点検）</p> <p>【慣】 行動を表す表現やその時刻を尋ねる表現を、聞いたり言ったりしている。</p> <p>（行動観察、 振り返りシート点検）</p>
課外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の一日についてインタビューする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの中で役割分担してインタビューするようにし、協力しながら活動ができるようにする。</li> <li>・中学校や他小学校にも事前に連絡をしておき、スムーズに活動ができるようにする。</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生へのインタビュー結果を紹介し合う。</li> <li>・世界の国々には、日本との時差があることに気付く。</li> <li>○チャンツ「What time do you get up?」</li> <li>○中学生の一日について紹介し合おう</li> <li>○世界は今、何時？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★中学生へのインタビュー結果を交流し合うことで、中学生の一日の生活について共有化を図る。</li> <li>★世界地図やインターネットのウェブカメラの映像を活用することで日本との時差に気付くことができるようにする。</li> </ul>	<p>【気】 世界には時差があることに気付いている。</p> <p>（行動観察、 振り返りシート分析）</p>

6 本時の学習（4／5）

(1) ねらい

- ・中学生にインタビューする内容を進んで考える。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・行動を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】

(2) 学習過程

学習活動	欄	支援と評価 ★UDの視点による支援		資料等
		T1（津江）	T2（金田一）	
1 Greeting あいさつをする。（一斉→個）	2	・全体であいさつをした後、児童数人とあいさつをし、よさを認め、学習意欲を高める。	・児童の発話を促し、自信がない表現を繰り返し練習させることでその後の活動がスムーズにできるようにする。	絵カード
2 Warm up ジェスチャーゲーム（一斉）	5	★一日の生活の中での行動をジェスチャーで表現することで、具体的な場面をイメージしやすいようにする。 <b>視覚化</b>		
3 Today's Goal 本時のめあてを知る。（一斉） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中学生の一日の生活について知るために、インタビューする内容を考えよう。</div>	2	・前時までの学習を振り返るとともに、体験入学の話題に触れることで見通しをもって、意欲的に取り組むことができるようにする。	★学習の流れを掲示することで、見通しをもって活動に臨めるようにする。 <b>視覚化</b>	学習の流れカード
4 Practices (1) Let's Chant What time do you get up? （一斉・グループ）	6	・速さや役割を変えることで、飽きずに取り組むことができるようにする。 ★チャンツに用いる会話表現を短冊にして掲示することで、発話の際の手掛かりとさせる。 <b>視覚化</b>	・児童と共にチャンツを言うことで、児童が安心感をもって取り組むことができるようにする。	会話表現の短冊 デジタル教材 絵カード
(2) Let's Play チェンゲーム（グループ） グループごとに一列に並ぶ。伝言ゲームの要領で先頭の児童から順に後ろの児童に、“What time do you ~?”の質問をし、後ろの児童は、その行動をしている時刻を答える。同じように繰り返し、最後尾の児童が先頭の児童に質問し、それに先頭の児童が答えたら終了。	10	★やり方をデモンストレーションで示すことで、活動がスムーズにできるようにする。 <b>共有化</b> ★活動の途中でグループを変えることで、互いに協力したり、男女関係なく交流したりできるようにする。 <b>共有化</b>	・言い方が分からない児童に寄り合い、個別に支援する。	
(3) Activity 中学生へのインタビュー内容を考えよう。（個→ペア）	15	★学習シートには、インタビューする内容と実際に中学生に聞いた答えを記入する欄とを設けておき、実際のインタビューをイメージして活動に取り組むことができるようにする。 <b>焦点化</b> ★インタビュー内容を決めることができた児童は、教師や友達とペアで練習し合い、自信をもってインタビュー活動ができるようにする。 <b>共有化</b> ★ジェスチャーを用いたり、相手の目を見て話したりすることができている児童を紹介し、気持ちのよいコミュニケーションを意識できるようにする。 <b>共有化</b>	・学習していない事柄について尋ねたい児童がいた場合には、なるべく簡単な英語表現に置き換えて尋ねることができるようにする。	学習シート
5 Closing 振り返りをする。（個→一斉）	4	★めあてに沿った振り返りができるように助言し、シートにも明記しておく。 <b>焦点化</b>		振り返りシート
6 Greeting あいさつをする。（一斉）	1	<p>【コ】中学生へのインタビュー内容を、進んで考えている。（行動観察、振り返りシート点検）</p> <p>【慣】行動を表す表現やその時刻を尋ねる表現を、聞いたり言ったりしている。（行動観察、振り返りシート点検）</p> <p>・本時のがんばりを具体的に認め、次時の意欲につなげる。</p>		